

製品安全データシート(SDS)

1. 製品名及び会社情報

製品名 : ベースバインダー ライト #3
会社名 : 株式会社クォーツテクニカ
住所 : 兵庫県灘区船寺通1-7-12
担当部門 : 技術開発部
電話 : 078-200-4508
FAX : 078-200-4509
緊急連絡先 : 078-200-4508
作成日 : 2009年9月8日
改訂日 : 2016年5月12日

2. 危険有害性の要約

この製剤は、以下のGHS分類基準により、危険有害性がある。

[GHS分類]

皮膚腐食性/刺激性 : 区分3
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分3
急性水生毒性 : 区分2
慢性水生毒性 : 区分1

※ 記載がないものは、分類できない、分類対象外または区分外。

[GHSラベリング]

絵表示またはシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

: 警告
: 軽度の皮膚刺激
: 呼吸器への刺激のおそれ
: 水生生物に毒性

注意書き

: 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸引を避けること。
: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
: 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
: 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
: 施錠して保管すること。
: 内容物/容器の破棄は地域の規則に従い行う。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 合成樹脂塗料(水性)

CAS番号	化学名	含有量	化審法(ENCS)/ 安衛法(ISHL)番号	GHS危険有害性
8052-41-3	ストッダード溶剤(石油)	20-30%	9-1702	✓

規制対象外成分 70-80%

4. 応急措置

- ・眼に入った場合
コンタクトレンズをはずす。両まぶたを開き、きれいな水で最低15分間なんども洗浄する。医師の指示を受ける。
- ・皮膚に付着した場合
溶剤またはシンナーを使用してはならない。直ちに汚染された衣服を脱がせる。水と石鹼、ある

いは容認された皮膚洗浄剤で皮膚をきれいに洗う。皮膚の炎症が継続する場合は、医師に相談すること。

・吸入した場合

蒸気や噴霧は吸い込まないように留意。蒸気を誤って吸引した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸が不規則であったりまとったりした場合は、人工呼吸を行う。意識がない場合は、回復体制にし、医師の指示を受ける。症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。

・飲み込んだ場合

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡し、容器またはラベルを見せること。無理に吐かせないこと。安静にする。

[最も重要な徴候及び症状]

・吸入した場合

鼻や喉に刺激を与えるおそれがある

・飲み込んだ場合

胃腸の痛みを起こすおそれがある

・皮膚に付着または眼に入った場合

眼の刺激あるいは火傷を起こすおそれがある。溶液に繰り返し接触したり、長時間接触したりすると、不快感や皮膚の炎症を伴う刺激を受けるおそれがある。

[医師に対する特別な注意事項]

製品に関するデータは得られない。製品に含まれる危険有害性成分については、セクション3および11を参照する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水スプレー、粉末消火剤、泡
使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水

[火災時の特有の危険有害性]

蒸気は空気と混同して爆発性になることがある。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。溶剤の蒸気は空気より重いので、床上に広まる可能性あり。容器は耐圧容器ではないため、圧力をかけてはならない。最初の容器内でのみ保管する。(容器を移し替えてはならない)。

[特別保護設備および消火方法]

必要に応じて完全保護防火服、自給式呼吸装置を着用する。火災の場合は、散水によりタンクを冷却する。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

6. 漏出時の措置

[人体に対する予防措置]

換気の良い場所で保管する。付近の着火源となるものを取り除く。安全の指令に従う(第7章・第8章参照)。蒸気を吸入してはならない。

[環境に対する予防措置]

物質が排水施設に流れ込まないようにする。川、湖または排水システムの汚染が発生した場合、条例に従いそれぞれの当局に通知する。

[除去方法]

漏洩物は不活性な物質(砂、土、バーミキュライト、珪藻土など)に吸引させて、容器に回収し、条例に従って廃棄する。溶剤を使用せず、洗剤を用いて清浄する。

[二次災害の防止策]

現地の規定に従い、処分する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

[取り扱い]

・技術的対策

引火性または爆発清蒸気が増大することを防止し、許容濃度(OEL)を超えないようにする。この製品は、直火や他の発火源がない場所のみで使用。調合時に静電気を発生する可能性があるため、容器から容器へ移し替える場合にはアースをする必要がある。作業中は帯電防止の安全靴及び作業着を着用する。火花の出る道具は用いない。皮膚や眼に接触をさける。蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。空にする場合には、加圧しない。

[保管]

・適切な保管条件

ラベルの予防措置を遵守する。熱源、着火源、直射日光を避け、5～25℃の乾燥した換気の良いところで保存する。禁煙。関係者以外立ち入り禁止。一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。指定数量以上を保管する場合は、消防法危険物倉庫に保管する。指定数量の1/5以上～1未満を保管する場合は、消防法届出倉庫に保管する。

・安全な容器包装材料

供給者の指定容器と同一素材の容器に常に保存をする。

8. 暴露防止および保護措置

[設備対策]

十分に換気する。そのためには、空気の入替えをよく行い、(もし実行可能であれば)局所排気装置を使う。これらが粒状物質および溶媒蒸気の濃度をOEL未満に保つために充分ではない場合、適切な呼吸保護具の着用が必要である。

[管理濃度・許容濃度]

化学名

ストゥダード溶剤(石油) TWA 100ppm ACGIH

[保護具]

目、皮膚または衣類への接触を避けるため、個人保護具の着用が必要である。

[呼吸器の保護]

作業者が暴露限界濃度以上に直面する場合、適切な呼吸用保護具を着用すること。

[目の保護具]

溶剤の飛散から守るため、保護眼鏡を着用すること。

[手の保護具]

製品の手袋透過時間は不明である。手袋の材質は、製造する物質に基づいて決めることを勧める

手袋の素材	手袋の厚さ	破過時間
ニトリルゴム	0.33mm	60min

保護手袋は作業に最適なものであることを確認すること。(例:機械安全性、製品適応性、静電気特性)塗装作業を行う場合、グループ3の耐薬品性のゴム手袋(例:DermaTril手袋)を使用すること。汚染された後は、手袋を交換すること。もし製品に手を浸すことが避けられない場合(例:メンテナンス)、プテリルまたはフルオロゴム手袋を使用すること。このMSD3章に記載された物質が皮膚暴露を起こす恐れがある場合、手袋の供給者に相談し、この製品の使用に適切な種類と浸透するまでの時間を求めること。保護手袋を簡単に破損するような鋭利なものや使用効果がなくなるようなものを取り扱う場合には注意が必要。保護手袋の使用、保管、手入れ、交換などは供給者が提供する使用方法や情報に従うこと。破損した手袋または使用期限を過ぎたものは直具に交換すること。

[皮膚と身体の保護]

適切な保護服を着用する。天然繊維または耐高熱合成繊維製の静電防止服を着用すること。

[適切な衛生対策]

水と石鹸、あるいは容認された皮膚洗浄剤で皮膚をきれいに洗う。有機溶剤の使用禁止。

9. 物理的および科学的性質

[外観]

形状:液体 色:白色 臭いの閾値:データなし

pH	: 7.5
凝固点	: 適用できない。
沸点	: 適用できない。
引火点	: 94℃
蒸発速度	: エーテルよりも遅い
引火性	
爆発上限	: 適用できない。
爆発下限	: 適用できない。

蒸気圧	: 0.8 hPa	
溶解度	: 易溶	
蒸気密度	: データなし	
密度	: 1g/cm ³	DIN 53217/ISO 2811
n-オクタノール/水分配係数	: データなし	
発火点	: 232°C	DIN 51794
分解温度		
粘度 (23°C)	: 適用できない。	ISO 2431-1993

10. 安定性及び反応性

[安定性]

安定

[危険な重合]

起こらない

[避けるべき条件]

推奨する保管及び取り扱いにおいて安定(第7章参照)

[混融危険物質]

発熱反応を避けるため、酸化剤、強アルカリ、強酸の物質から離しておく。

[危険有害性のある分解生成物]

高温時に一酸化炭素・二酸化炭素・窒素酸化物などの危険有害な分解物が生成する恐れがある。

11. 有害性情報

[可能性のある暴露経路の情報]

- ・吸入した場合
鼻や喉に刺激を与えるおそれがある
- ・飲み込んだ場合
胃腸の痛みを起こすおそれがある
- ・皮膚に付着または眼に入った場合
眼の刺激あるいは火傷を起こすおそれがある。溶液に繰り返し接触したり、長時間接触したりすると、不快感や皮膚の炎症を伴う刺激を受けるおそれがある。

[短期および長期暴露による遅発的・速効的影響ならびに慢性的影響]

- ・急性経口毒性
危険ではない
- ・急性経皮毒性
危険ではない
- ・急性吸入毒性
危険ではない

[皮膚腐食性/刺激性]

ストッダード溶剤(石油) 区分3

[特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)]

- ・皮膚吸収
麻酔作用 ストッダード溶剤(石油)
- ・吸入した場合
呼吸器官の刺激 ストッダード溶剤(石油)

[毒性の数値(急性毒性推定値(ATE)、他)]

情報なし。

[物理的、科学のおよび毒物学的特性に関連する症状]

情報なし。

12. 環境影響情報

この製品は環境に有害な物質を含有しており、GHSにより分類されております。

- ・環境影響
この製品自体のデータはなし。
- ・急性水生毒性
スタッダード溶剤(石油) 区分2
- ・慢性水生毒性
スタッダード溶剤(石油) 区分1
- ・未知成分 5%
- ・残留性と分解性
情報なし。
- ・生体蓄積性
情報なし。
- ・土壌中の移動度
情報なし。
- ・他の有害影響
情報なし。

13. 廃棄上の注意

[廃棄の適用法令]

特別管理産業廃棄物に該当する要素を含んでいない。

[残余廃棄物]

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た(特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託する。

[汚染された容器及び包装]

空き容器を廃棄処理する場合は、内容物を完全に除去し、残余廃棄物と同様に廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

[国際規制]

・IMDG(海上輸送)

品名(Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
(スタッダード溶剤(石油))

国連番号 : 3082

危険有害性クラス : 9

危険有害性副クラス : 適用できない。

包装等級(PG) : III

海洋汚染物質 : P(スタッダード溶剤(石油))

海洋汚染物質 : F-A, S-F

・ICAO/IATA(航空輸送)

品名(Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
(スタッダード溶剤(石油))

国連番号 : 3082

危険有害性クラス : 9

危険有害性副クラス : 適用できない。

包装等級(PG) : III

[国内規制]

船舶安全法 : 有害性物質

航空法 : その他の有害物

[追加の規制]

・輸送の特定の安全対策及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れの無いことを確かめる。転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に。規制を受けるそれぞれの法、規則にしたがい、適した容器包装に収納し、表示を行い、輸送を行う。

15. 適用法令

[日本の適用法令]

労働安全法: 有機則 第3種有機溶剤 スタッダード溶剤(石油)

船舶安全法: 有害性物質

航空法 :その他の有害物
消防法 :指定可燃物(可燃性液体類)

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。上記の情報はいかなる保証をするものでもありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、別な物質へ変化させたり、処理したり、あるいは指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせには有効ではありません。

医学用途での注意事項: 人体への永久的埋め込みを伴う医学用途には使用しないで下さい。